



2026 年 7 月 27 日

各 位

会 社 名 スター・マイカ・ホールディングス株式会社

代 表 者 名 代表取締役社長 水永 政志
(コード 2975 東証プライム)

問 合 せ 先 執行役員 長谷 学

TEL 03-5776-2785

URL <https://www.starmica-holdings.co.jp/>

株式会社日本政策投資銀行との資本業務提携を通じた 第2号流動化ファンド組成に関するお知らせ

当社は、株式会社日本政策投資銀行（以下「DBJ」といいます。）からのストラクチャリングの検討支援のもと、中核事業会社であるスター・マイカ株式会社（以下、「スター・マイカ」といいます。）が保有する中古区分所有マンション群を新設された「フローライト合同会社」に譲渡し、不動産特定共同事業法（以下「不特法」といいます。）に基づく第2号不動産流動化ファンド（以下「当ファンド」といいます。）を組成いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 背景及び目的

当社グループは、「“作る”から“活かす”社会の実現へ」を企業理念に掲げ、中古区分所有マンションの再生・流通を中心とした事業展開を行っております。2024 年 1 月に公表した中期経営計画「Find the Value 2026」においては、主要成長戦略の一つとして「ファンド化の推進」を掲げております。

この戦略推進と中長期的な企業価値向上を目的として、当社はDBJとの間で、2025 年 4 月 30 日付で「資本業務提携契約」を締結し、中長期的なビジネスモデルのアップグレードを見据えた「ファンド化の推進」の具体的な取り組みとして、2025 年 9 月 25 日付で、当社グループの強みである中古区分所有マンションの再生・流通事業を活用した第1号私募ファンドの組成に至っています。

本件は、それに続く第2号案件として、今後のファンドビジネスの更なる拡大を視野に、多様な投資家の参画など将来の拡張性も考慮した新たなコンセプトの私募ファンドとなります。スター・マイカは当ファンドへの匿名組合出資を行なっておりますが、DBJには本件においても、ストラクチャリングの検討支援にとどまらず、自らも投資家として当ファンドへの出資を実行して頂いております。

なお、当ファンドにおいては、第1号ファンドの借入先である株式会社三菱UFJ銀行がアレンジャーを務めたシンジケートローンの組成により、今後の当社のファンドビジネスの推進における資金調達基盤のさらなる強化を実現しています。

2. 当ファンドの概要

(1) 名 称	フローライト合同会社
(2) 組 入 れ 資 産	首都圏・近畿圏を中心とする賃貸中の中古区分所有マンション191戸 総額約 50 億円
(3) レ ン ダ ー	株式会社三菱UFJ銀行 他
(4) アセットマネージャー	株式会社玄海キャピタルマネジメント
(5) 運 用 開 始 日	2026 年 7 月 27 日

3. 今後の見通し

当社は、本件中古区分所有マンション群の譲渡を2026年11月期第3四半期の連結決算に計上いたします。本件が当期の連結業績に与える影響につきましては、2026年5月13日に公表いたしました「連結業績予想の修正及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」の通期連結業績予想に織り込み済みですが、今後業績予想を変更する必要がある場合は速やかに開示いたします。

当社は、本件を契機としてDBJ及び参加金融機関との連携をさらに深め、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指してまいります。

※本文書は当ファンド組成及びDBJによる当ファンドへの出資実行を公表するためであり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

以上